

自見先生からのご寄稿いただきました

参議院議員 自見はなこ 活動報告

「国民医療の発展に向けて」



日本医師連盟の先生方におかれましては、平素より温かいご指導とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

新型コロナウイルスのオミクロン株による感染者数増加が著しく、通常医療も含む医療提供体制の維持、自宅待機者の健康観察、ワクチン接種など献身的にご尽力いただいている先生方に最大限の敬意を表します。このような状況であるからこそ、組織代表として国会に議席をいただいていることの重みを痛感しております。政府に対しても、医療現場の実態を踏まえた施策がとられるよう、声を大にして訴えて参ります。

新型コロナウイルスのオミクロン株による感染者数増加が著しく、通常医療も含む医療提供体制の維持、自宅待機者の健康観察、ワクチン接種など献身的にご尽力いただいている先生方に最大限の敬意を表します。このような状況であるからこそ、組織代表として国会に議席をいただいていることの重みを痛感しております。政府に対しても、医療現場の実態を踏まえた施策がとられるよう、声を大にして訴えて参ります。

年成り、地域医療を守りつつ過重労働を防ぐため、働き方改革に向けた問題点洗い出しの議論も本格化して参ります。HPVワクチンの積極的勧奨再開も、来年度から実現することとなりました。9価ワクチンの定期接種化や、男性への接種が今後の課題です。難聴対策も、新生児期・小児期の難聴対策で大きな予算獲得が実現し、認知症対策、適切な補聴器へのアクセス拡大など自治体レベルでの取り組みが始まり、全国展開に向けてさらに後押しが必要で

す。外国人医療の問題についても、被扶養者に国内居住要件を盛り込んだ健康保険法の改正や、医療費未払い歴がある外国人の再入国審査の厳格化が実現して適正化が進んだほか、訪日外国人への多言語対応等の予算が大幅に獲得でき、コロナ後を見据えた海外との往来再開や水際対策についてしっかりとフォロ

うしていかねばなりません。コロナの教訓を活かした今後の新興感染症対策も、医療政策上の最重要課題の一つです。第二十六回参議院議員選挙に向けては、自民党から約十人の医療系候補者が比例区から立候補予定であり、激戦が予想されます。日本維新の会の躍進など、自民党の獲得議席数が減る可能性もあります。さらに、政党名ではなく個人名を書かなければその候補者の得票にならないという参議院比例区選挙制度の周知も必要です。

引き続き先生方のお声を国に届ける役割を担い、目下の課題である新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、数多くの分野で政策の継続性をもって取り組んでいくため、全身全霊で臨みます。日本医師連盟の先生方の力強いご支援を心よりお願い申し上げます。

参議院議員連盟にて新型コロナウイルス感染症の検査に係る保険収載価格について質問  
二月三日の参議院議員連盟委員会にて、PCR等の検査の診療報酬について山際大志郎内閣府特命担当大臣(新型コロナ対策・健康危機管理担当)に質問しました。検査の価格の見直しは、通常は診療報酬改定時(二〇二二年四月一日)に行われるところ、昨年十二月三十一日に臨時的に引き下げが行われました。一部経過措置はあるものの、PCR検査千八百点(委託)・千三百五十点(委託以外)が七百点に、抗原検出検査六百点が三百点(定性)・五百六十点(定量)になるなど、現場への影響が非常に大きい引き下げです。PCR検査キットが数千円するほか、人件費、PPEや消毒液などの感染対策に要する費用もあり七百点や六百点ではとてもやっていけない状態です。国の方針として検査の価格を下げば、検査をやるのであれば、診療報酬よりも先に検査キットの価格を下げなければ、医療機関では検査をやりたいけれどもできないという状況になってしまいます。現場が非常に困っているということを山際大臣に伝えて質問

り、使命感と責任感で身が引き締まる思いです。二〇一六年に国会に送っていたように、先生方の応援をいただきつつ取り組んできたさまざまな政策分野で、いよいよこれから成果が表れ始める時期でもあります。二〇一八年の議員立法以来、成育基本法の課題であった行政組織のあり方の見直しについて、「こども家庭庁」設置法案が国会で審議され、二〇二三年度の設置が目指されています。二〇二四年からの医師の時間外労働規制適用開始を前に、スチューデントドクターの法制化やタスクシフト・シェアについて定めた医療法等の改正が昨

年成り、地域医療を守りつつ過重労働を防ぐため、働き方改革に向けた問題点洗い出しの議論も本格化して参ります。HPVワクチンの積極的勧奨再開も、来年度から実現することとなりました。9価ワクチンの定期接種化や、男性への接種が今後の課題です。難聴対策も、新生児期・小児期の難聴対策で大きな予算獲得が実現し、認知症対策、適切な補聴器へのアクセス拡大など自治体レベルでの取り組みが始まり、全国展開に向けてさらに後押しが必要で

す。外国人医療の問題についても、被扶養者に国内居住要件を盛り込んだ健康保険法の改正や、医療費未払い歴がある外国人の再入国審査の厳格化が実現して適正化が進んだほか、訪日外国人への多言語対応等の予算が大幅に獲得でき、コロナ後を見据えた海外との往来再開や水際対策についてしっかりとフォロ

うしていかねばなりません。コロナの教訓を活かした今後の新興感染症対策も、医療政策上の最重要課題の一つです。第二十六回参議院議員選挙に向けては、自民党から約十人の医療系候補者が比例区から立候補予定であり、激戦が予想されます。日本維新の会の躍進など、自民党の獲得議席数が減る可能性もあります。さらに、政党名ではなく個人名を書かなければその候補者の得票にならないという参議院比例区選挙制度の周知も必要です。

引き続き先生方のお声を国に届ける役割を担い、目下の課題である新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、数多くの分野で政策の継続性をもって取り組んでいくため、全身全霊で臨みます。日本医師連盟の先生方の力強いご支援を心よりお願い申し上げます。

参議院議員連盟にて新型コロナウイルス感染症の検査に係る保険収載価格について質問  
二月三日の参議院議員連盟委員会にて、PCR等の検査の診療報酬について山際大志郎内閣府特命担当大臣(新型コロナ対策・健康危機管理担当)に質問しました。検査の価格の見直しは、通常は診療報酬改定時(二〇二二年四月一日)に行われるところ、昨年十二月三十一日に臨時的に引き下げが行われました。一部経過措置はあるものの、PCR検査千八百点(委託)・千三百五十点(委託以外)が七百点に、抗原検出検査六百点が三百点(定性)・五百六十点(定量)になるなど、現場への影響が非常に大きい引き下げです。PCR検査キットが数千円するほか、人件費、PPEや消毒液などの感染対策に要する費用もあり七百点や六百点ではとてもやっていけない状態です。国の方針として検査の価格を下げば、検査をやるのであれば、診療報酬よりも先に検査キットの価格を下げなければ、医療機関では検査をやりたいけれどもできないという状況になってしまいます。現場が非常に困っているということを山際大臣に伝えて質問

第26回参議院議員選挙に向けて

日本医師連盟から推薦決定をいただいた第二十六回参議院議員選挙が、いよいよ本年七月に迫って参りました。このコロナ禍で、医療現場の声を最も国に届けなければいけないタイミングで改選期を迎えることにな

り、使命感と責任感で身が引き締まる思いです。二〇一六年に国会に送っていたように、先生方の応援をいただきつつ取り組んできたさまざまな政策分野で、いよいよこれから成果が表れ始める時期でもあります。二〇一八年の議員立法以来、成育基本法の課題であった行政組織のあり方の見直しについて、「こども家庭庁」設置法案が国会で審議され、二〇二三年度の設置が目指されています。二〇二四年からの医師の時間外労働規制適用開始を前に、スチューデントドクターの法制化やタスクシフト・シェアについて定めた医療法等の改正が昨

年成り、地域医療を守りつつ過重労働を防ぐため、働き方改革に向けた問題点洗い出しの議論も本格化して参ります。HPVワクチンの積極的勧奨再開も、来年度から実現することとなりました。9価ワクチンの定期接種化や、男性への接種が今後の課題です。難聴対策も、新生児期・小児期の難聴対策で大きな予算獲得が実現し、認知症対策、適切な補聴器へのアクセス拡大など自治体レベルでの取り組みが始まり、全国展開に向けてさらに後押しが必要で

す。外国人医療の問題についても、被扶養者に国内居住要件を盛り込んだ健康保険法の改正や、医療費未払い歴がある外国人の再入国審査の厳格化が実現して適正化が進んだほか、訪日外国人への多言語対応等の予算が大幅に獲得でき、コロナ後を見据えた海外との往来再開や水際対策についてしっかりとフォロ

うしていかねばなりません。コロナの教訓を活かした今後の新興感染症対策も、医療政策上の最重要課題の一つです。第二十六回参議院議員選挙に向けては、自民党から約十人の医療系候補者が比例区から立候補予定であり、激戦が予想されます。日本維新の会の躍進など、自民党の獲得議席数が減る可能性もあります。さらに、政党名ではなく個人名を書かなければその候補者の得票にならないという参議院比例区選挙制度の周知も必要です。

引き続き先生方のお声を国に届ける役割を担い、目下の課題である新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、数多くの分野で政策の継続性をもって取り組んでいくため、全身全霊で臨みます。日本医師連盟の先生方の力強いご支援を心よりお願い申し上げます。

参議院議員連盟にて新型コロナウイルス感染症の検査に係る保険収載価格について質問  
二月三日の参議院議員連盟委員会にて、PCR等の検査の診療報酬について山際大志郎内閣府特命担当大臣(新型コロナ対策・健康危機管理担当)に質問しました。検査の価格の見直しは、通常は診療報酬改定時(二〇二二年四月一日)に行われるところ、昨年十二月三十一日に臨時的に引き下げが行われました。一部経過措置はあるものの、PCR検査千八百点(委託)・千三百五十点(委託以外)が七百点に、抗原検出検査六百点が三百点(定性)・五百六十点(定量)になるなど、現場への影響が非常に大きい引き下げです。PCR検査キットが数千円するほか、人件費、PPEや消毒液などの感染対策に要する費用もあり七百点や六百点ではとてもやっていけない状態です。国の方針として検査の価格を下げば、検査をやるのであれば、診療報酬よりも先に検査キットの価格を下げなければ、医療機関では検査をやりたいけれどもできないという状況になってしまいます。現場が非常に困っているということを山際大臣に伝えて質問



1月18日 自民党女性局政策ミーティングでHPVワクチンをテーマに三原じゅん子参議院議員を講師にお迎えして



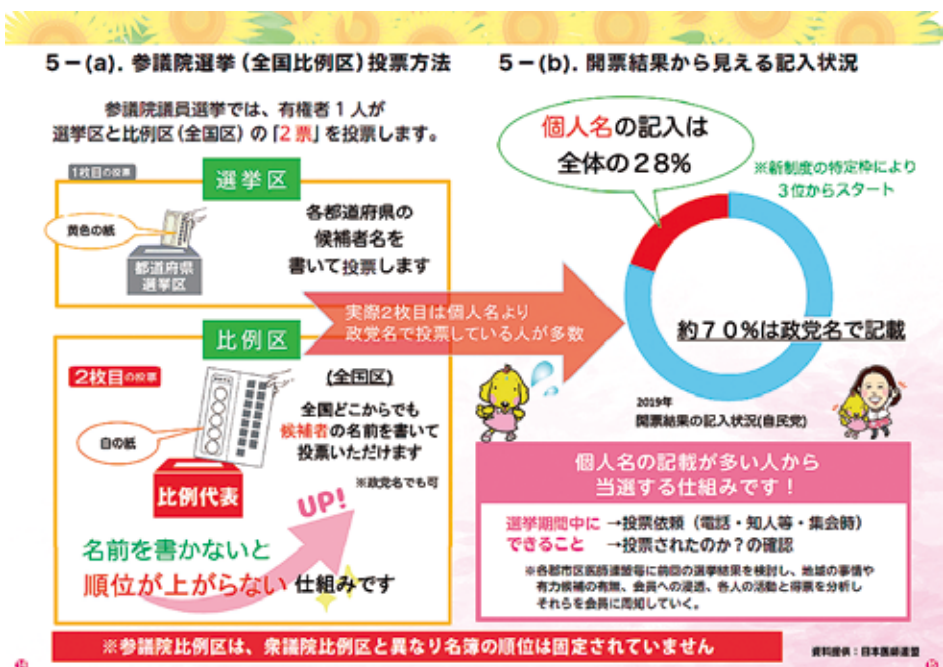
1月22日 三重県医師連盟総決起大会



神田医師会(東京都)を訪問し、会員の先生方とオンラインで懇談



1月22日 愛知県で開催された東海青年医学会で講演



参議院比例区の投票方法について、ご周知方お願い申し上げます



2月3日 参議院議員連盟委員会にて山際大志郎内閣府特命担当大臣に質問

百点に、抗原検出検査六百点が三百点(定性)・五百六十点(定量)になるなど、現場への影響が非常に大きい引き下げです。PCR検査キットが数千円するほか、人件費、PPEや消毒液などの感染対策に要する費用もあり七百点や六百点ではとてもやっていけない状態です。国の方針として検査の価格を下げば、検査をやるのであれば、診療報酬よりも先に検査キットの価格を下げなければ、医療機関では検査をやりたいけれどもできないという状況になってしまいます。現場が非常に困っているということを山際大臣に伝えて質問

え、見解を伺いました。山際大臣からは、現場で起きていることをしっかりと把握し、後藤茂之厚生労働大臣に伝える旨のご答弁をいただきました。社会経済活動を回していくことは、感染を収められるかに懸かっているため、後藤大臣に伝えるにとどまらず、しっかりと最後まで調整いただくと強く要望いたしました。小児へのワクチン接種について質問  
議院運営委員会では、小児へのワクチン接種についても質問しました。三月から、五十一歳の小児に対する新型コロナウイルスワクチンの接種が予定されており、厚生労働省などさまざまな関係機関で準備が進められています。ことこの感染や家庭内感染を抑えるためのワクチン接種ですが、接種推進のためには単価設定の見直しが必要ではないかという問題意識で、山際大臣に見解を伺いました。ワクチンの単価は、基本の二千七十七円に加えて、營養偉政権以来続く支援策として、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金による多数回接種を行う医療機関への上乗せがありま

んでいくため、全身全霊で臨みます。日本医師連盟の先生方の力強いご支援を心よりお願い申し上げます。参議院議員連盟にて新型コロナウイルス感染症の検査に係る保険収載価格について質問  
二月三日の参議院議員連盟委員会にて、PCR等の検査の診療報酬について山際大志郎内閣府特命担当大臣(新型コロナ対策・健康危機管理担当)に質問しました。検査の価格の見直しは、通常は診療報酬改定時(二〇二二年四月一日)に行われるところ、昨年十二月三十一日に臨時的に引き下げが行われました。一部経過措置はあるものの、PCR検査千八百点(委託)・千三百五十点(委託以外)が七百点に、抗原検出検査六百点が三百点(定性)・五百六十点(定量)になるなど、現場への影響が非常に大きい引き下げです。PCR検査キットが数千円するほか、人件費、PPEや消毒液などの感染対策に要する費用もあり七百点や六百点ではとてもやっていけない状態です。国の方針として検査の価格を下げば、検査をやるのであれば、診療報酬よりも先に検査キットの価格を下げなければ、医療機関では検査をやりたいけれどもできないという状況になってしまいます。現場が非常に困っているということを山際大臣に伝えて質問